

調査等事項報告（団体名：総務文教常任委員会）

視 察 先	山形県最上町
視 察 日 時	令和4年7月22日（金）13時00分～15時00分まで
視 察 項 目	バイオマスエネルギー地域システム化実験事業
視 察 者	矢萩浩次・阿部正任・石澤祐一・海老名幸司・中里芳之 結城 正・田中正信・柴崎亮太
内 容	<p>【視察の目的】 最上町では「人が元気、地域が元気、産業が元気」を最上町の将来像として掲げ、「バイオマスエネルギー地域システム化実験事業」等、豊富な森林資源の適正な管理と、再生可能なエネルギーの利活用の両面を有機的に結び付けた実践や、地域資源を利活用した持続可能な社会の実現に向けた各種施策を展開しています。 当委員会としては、それらの先進事例を調査したく、視察・研修会を実行しました。</p> <p>【視察施設の概要】 住宅内で火を炊かず、燃焼に伴う臭いがいないため、安全でナチュラルな輻射熱と自然対流で部屋を暖め、燃料を補充する手間がなく快適な人にも環境にもやさしい施設。</p> <p>【施設の運営】 最上町商工観光課エネルギー産業推進室</p> <p>【視察後の感想】 町内の森林から間伐材等を燃料として利用（エネルギーの地産地消）をすることで、森林がいつそう豊かになり燃料代も町内循環し町内経済も活性化につながる。まさに、今全世界で強く叫ばれているSDGs（持続可能な開発目標）を町民あげて取り組んでいる姿に感動しました。</p>